

## Internet Week 2016 NOC メンバー 感想レポート

私がこのネットワーク構築サポートを知るきっかけだったが先輩からの誘いでした。

もともとネットワークには興味があったのですが中々こういう体験ができるが無くとても貴重な体験になりました。

自分には知識も経験も全く無いに等しかったので、不安を抱えながらホットステージに参加しました。

案の定自分には何も無いので色々わからないことばかりでしたが、おかげで今の自分に確実に

足りないものを見つけられ、またたくさん刺激を受けました。

JPNIC・CONBU さんをはじめたくさんの人から未熟な自分に色々教えてもらったことに感謝しています。

また来年もこういう機会があるなら一層自分を磨いて出直して来ようと思います。ありがとうございました。

情報科学専門学校 中川稜

-----

Internet Week 2015 から参加して2回目の参加になります。

前回自分が出来なかったことについてリベンジで参加しましたが、

今回は、それ以外にも IPv6 ネットワークについて関心が高まる環境でした。

jool(NAT64 トランスレータ)などの知らない物について実際に使用して、IPv6 のみのネットワークを

作成しましたが、IPv6 しかないネットワークを初めて構築しました。

今後、IPv6 ネットワークが普及すると IPv4 を配布しない ISP が出た時このような機能を使用するの

だろうと思います

今回は、サーバ組に所属できたため、サーバ系の設定を多く経験することが出来ました。

主にログ監視系のシステムを Docker などで構築して会期中の運用監視などに役立てることが

出来ました。ソフトウェアの細かい設定などを想定できず、何回かクラッシュすることがあり

安定感に欠けるシステムになってしまいました。

次回には安定したシステム構築ができるように技術を磨いて来年も参加しようと思います。

日本工学院八王子専門学校 青山尚暉

-----

今回、昨年に引き続き InternetWeek の会場 NOC チームメンバーとして参加させていただきました。

参加に至っての動機は二つあります。一つは昨年参加した時の自分と比較して、この一年でどれだけ

成長できたのか確認したかったからです。もう一つは実運用されているネットワークの運営に

携われる貴重な経験が魅力的だったからです。

期間中は主に会場ネットワークに設営と監視を行いました。具体的には会場にネットワーク機器を設置したり

接続テストを行ったりしながら、ZABBIX やヒートマップなどのいくつかのアプリケーションを用いて会場内の

ネットワークを監視を行いました。ZABBIX やヒートマップは昨年にはなかった試みでしたが、

情報を可視化することでかなりスムーズに仕事を進めることができました。

提供しているネットワークを多くの方に利用していただけていることがよく分かるので、モチベーションにも

繋がります。今後身の回りでも機会があれば積極的に採用したいと思います。

今回が二度目ということで特に違いを感じたのは IPv6 を利用したネットワークでした。

もちろん IPv4 のネットワークも提供していましたが、一部試験的に IPv6 ネットワークを提供していました。

言い訳がましいですが、IPv6 や nat64 に関する知識は学校の座学で軽く学んだ程度で、殆ど持ち合わせておらずとても苦労しました。問題が生じてもどのような問題なのかぼん

やりとしか理解できないので

適切な切り分けや対処ができず、ただただ力不足を痛感するばかりでした。同時に学びたいという強い欲にも駆り立てられました。

今回の体験を通して特に感じたことは、後になってから思ったことですが

「わからないなりにもっとやれることがあった」ということです。知識や経験が乏しくても、

その他の面でもっとがんばれたと思います。事前のホットステージに参加したり公開されている資料すべてに目を通したり、

障害対応には分かるところから初めてみたり、その他の面で少しでもカバーできるように努力できるだけの要素は

残されていたと思います。結果として貴重な経験と同時に課題も見えたとてもよい体験になりました。

NOC チームの皆様や関係各所の多くの方々に感謝したいと思います。

情報科学専門学校 山崎輝人